

# 義太夫

義太夫協会会報  
第57号

平成5年9月22日  
社団法人 義太夫協会発行  
〒104 東京都中央区銀座  
6-18-2 新橋演舞場B2  
TEL (3541)5471

## 芸は甘やかすな

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

私達邦楽評論を行っているもの達の間では、今のままでは邦楽の将来に対して大きい危惧の念を抱いて居る。邦楽は江戸時代には一般に行われていたのは当然だが、明治以降も国民の間には広く行われ、大正時代から戦前にかけても、立派な曲や、名人が輩出した。学校では洋楽の唱歌を教えていたが、町には箏や三味線の音色が聞こえ、村では声自慢の人が土地の民謡を歌っていた。

その伝統が戦後になってぶっつりと途切れてしまった。その伝統を支える愛好者や後継者が激減してしまったのである。そしてその後四十年戦前に活躍した名人は次第に減ってしまいい、またその時代を知っている人達も少なくなった。

どうも最近の邦楽は、曲の形をそのままに踏まえていても、技巧と声や音色の美しさのみに頼るといのが流行っているようである。内容の表現と自分の個性はその後である。だが素人ならいざ知らず、プロとなるとそうは行かない。聴衆の心を引き付け、その中に飛込まなければならぬ。特に浄瑠璃のような語り物はそうである。江戸時代の社会が生んだ悲劇などは理屈の上からは今日の世界には通用しないものが多い。しかし名人の芸はその矛盾を無視して聴衆に涙を流させるもので

ある。この時演奏者と聴衆の間には時代を超越したものが出来る。

今の人達は大人になってから芸に接し、一番身につく子供の時代を無駄にしている。だからそれを取り返す為には種々な勉強が大切である。今の師匠は自分が学んだ頃は三味線の撥で叩かれて育った。なのに師匠になると弟子を甘やかす。そうしないと居着かないからという。素人の弟子なら当然だが、素質のあるまたやり通したいという気持ちのある内弟子なら叩けとは言わないが甘やかしてはならないのではなかるうか。叩かれたということも考えればただ技術ばかりではないことを示すためで、憎いからではない。

このことは私達の方でも考えるべきことと思う。実は私の先輩に吉田幸三郎という方が居られた。私はあの先生の晩年によく音楽会でお目に掛り、帰りにはよく誘われて途中で話しながらよく帰ったものである。或る日地下鉄の中で「私は古曲や古典邦楽で色々なことをやりましたが、滅亡してはいけないと甘やかしたことを今悔やんでいます、あなたも今にそういう立場になるでしょうが、甘やかすと芸は下手になりますよ」と言われた。その後先生は音楽会にも来られず、これが私への遺言のようなものになった。

名人が出れば自然にその音楽は盛んになることは今までの音楽史が示している。語り物の代表とされる義太夫が今の危機を脱して再び盛んになる為には皆で頑張ろうではないか。

# 鶴澤寛八師逝去



甲 電

御逝去の報に接し心からお悔み申し上げます。本牧亭と国立の公演を続けられたのは、偏に寛八師のおかげです。有難うございました。あざやかな曲弾きが目と耳に残っております。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

社団法人義太夫協会

会長 田辺 秀雄

## 寛八さんの曲弾き

義太夫協会名誉会長

吉川 英 史

鶴澤寛八師が亡くなりました……………この訃報に接して、誰もが驚き絶句しました。明治生れの師匠方が現役で活躍し、また殊のほか長命なことで有名な女流義太夫の世界にあって、豪放とか闊達という言葉の似合う寛八師は、しかも大正の生れです。国立演芸場の女流義太夫演奏会には、平成3年4月が最後の出演でしたが、国立にはお出にならなくとも大阪では御活躍なのだろう、お稽古をつけていらっしやるだろうと、大方は漠然と思っていたのではないのでしょうか。それほど寛八師と病氣、ましてや死はまるっきり遠いイメージでしたから、このショックは本当に大きなものでした。御霊前に、勲五等瑞宝章叙勲の報せが届けられたことを御報告申し上げ、謹んで御冥福をお祈りいたします。

鶴澤寛八さんは、一昨年頃から体調を崩され、国立演芸場の公演に出演できない状態となりました。三味線の重鎮、重輝さんもご病気で欠演が多かったころだけに、寛八さんへのご無理な出演依頼もあったかもしれません。今から思えば、病身に鞭打って、上京し出演されたことが、命を縮められることになったのではなからうかと、悔やまれてなりません。女流義太夫界は、土佐廣さん、綾之助さんの逝去など、太夫（語り手）の方も手薄になったことが歎かれますが、三味線の方の絶対

数が少ないので、この度の寛八さんのご逝去は、殊更女流義太夫ファンに大きな衝撃を与えました。

そのような重要な役割を持っておられた寛八さんに対する私個人の印象は、明るい人、派手な人という印象でした。また、寛八さんの芸についての印象は、堅苦しさがなく、大らかで、迫力のあるものという印象であります。

しかも、それを最も良く表していた代表的な曲は、「閑取千両轎」、特に大サービストとしてそれに付録演奏された「櫓太鼓」の曲弾きでした。曲弾きというものは、礼楽思想が今も生きている邦楽の世界では、邪道視する人もありますが、私はむしろお客へのすばらしいサービスとして、歓迎すべきものと考えます。NHKに放送文化財ライブラリーというものがあります。その審議会があった頃、私も審議委員として、録音を提案したことが二、三件あった中に、鶴澤寛八さんの曲弾きがありました。確か、寛八さんの曲弾きは、今もNHKの文化財ライブラリーに保存されているはずであります。

しかし、曲弾きは寛八さんのものが録音として残っているばかりではありません。寛八さんの型とはちょっと違いますが、最近、鶴澤悠美さんの実演の曲弾きも聴くことができました。悠美さんは、今年の春、財団法人清栄会の奨励賞を受賞しましたが、それは悠美さんが、国立演芸場で「曲弾き」を演奏して好評を博してから間もない頃でした。その好

評が直接清栄会の授章に繋がってはいませんが、選考会議にとってタイミングが良かったということは、いえるかと思えます。

少なくとも、私にとっては、鶴澤寛八さんを最も強烈に思い出させるのは、「櫓太鼓」の曲弾きでしょう。寛八さん型のそれは、いつ誰の演奏によって実現することになるでしょうか。

終りになりましたが、寛八さんの義太夫協会への永年のご協力に対し、改めて感謝の意を表し、心からご冥福を祈ります。

## 寛八師の贈物

鶴澤寛八 会代表

女流義太夫を励ます会代表

弁護士 高橋 正毅

寛八師は、私にとってまるで二人目の母親のような存在であった。気ざっぱりとして、大きく、あたたかく、私のわがままを何でも受け入れ、聞いてくれる、そのような、私にとって大切な、大切な人であった。

芸に生きるひたむきさと、無邪気さが同居する、まるで子供のような存在でもあった。

私は、最初、師匠の芸に憑かれ、次に、師匠の人となりそのものに魅かれていった。

初めて女義太夫と出会ったのは昭和五三年春。あるカルチャー・センターの文楽鑑賞教

室の申込みのついでに義太夫教室もあることを知り、好奇心半分で参加したことがきっかけであった。

教室で待っていると、お茶酌みのおばさんがお茶を酌んでくれた。ところが驚いたことに、当の教室の講師は、何とさきほどのお茶酌みのおばさん、その人であった。芸名を鶴澤寛八といい、女義太夫では若手に属するといふ。

それまで娘義太夫、女太夫という言葉は知っていたものの、それは遠い江戸、明治の芸人の話のこと、義太夫教室の先生も、当然、男性であるとはかり思い込んでいた。歌舞伎の世界でも、文楽の世界でも、男性が、子供にも年寄りにも、更には女にさえもなりきって演じる。男が作り出す「化身」の世界、そこには生身の女性が入り込む余地はない。こう思い込んでいた私は、寛八師匠の登場に驚き、男性顔負けの芸の力に仰天した。

「酒屋」や「壺坂」などのさわりから、「普原」の一段へと稽古が進んで行く中で、自分の稽古よりも、師匠の芸に専ら感心し、文楽とは違う女流ならではの濃やかで、優しく、温かみのある芸に没頭していった。

よし、女流義太夫のために、自分で舞台を提供して、素晴らしい女流の芸の発表の場として貰おう。こう考えたのは、やはり寛八師の人間性に惚れ込んだせいであった。

昭和五七年一〇月五日、大阪南の南海ホールで、「第一回鶴澤寛八会」を開催し、平成二年六月二十九日、奈良橿原文化会館で、「第

二〇回鶴澤寛八会」を成功裡に迎えるまで、九年間に実に二〇回もの寛八会を主催してきた。が、この間、寛八会をやめようと思ったことは一度もない。それどころか、寛八師を中心とした貴い女流義太夫の会を少しでも長く続け、そして少しでも多く記録に残していきたいと、毎回の寛八会では、採算を度外視して、床本パンフレットを作り続けてきた。

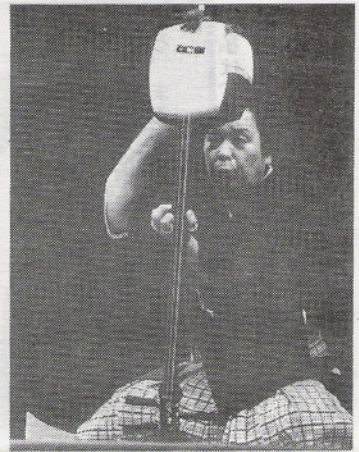
私には、寛八師を応援するに際して、自分で取り決めたことが二つあった。一つは、正式の鶴澤寛八会については、きちんとした劇場ホールで床本パンフレットも正式に作る。

あくまでも女流義太夫の伝統を守り抜く。もう一つは、宣伝のためのアトラクションで、こちらは時も所も選ばない。客寄せパンダではないが、師匠といえど、デイスコにでもフランス料理店にでも、大型豪華クルーザー船にでも、どこにでも太棹一つ持って行って貰う。伝統的な芸の世界に生きる人なら、顔をしかめるような大胆な企画も、伝統の枠にとらわれることなく、どんどん行なう。

寛八師は、そんな私を許し、受け入れて下さった。それは女流義太夫のためという大きな目標を共有していたからであったろう。

今では果たせぬ夢と終わったが、本来なら五〇回、一〇〇回と鶴澤寛八会を続けて、師匠を人間国宝にして差し上げたかった。

しかし私の手許には、師匠と共に企画し、共に苦労して歩んできた寛八会二〇回の記録が残っている。私だけのものではない素晴らしい宝物。師匠、本当に有難うございました。



曲弾き（佐藤ゆり江氏撮影）

【鶴澤寛八年譜】

本名 上村 はま

大正6年1月12日 大阪に生れる。  
昭和5年 竹本団路に入門、竹本団秀。

10年 豊澤小住に入門。

12年 三味線に移行。

26年 鶴澤寛治に入門、鶴澤寛八となる。

36・37・43・45・46・47・48・50・51・53・54・55・

56・57・59・61・63・平成元年度

人形浄瑠璃因協会賞

53年 大阪文化祭賞

55年 重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者

61年 社団法人義太夫協会理事

62年 大阪市民表彰（文化功労）

平成2年 義太夫節保存会理事

3年 大阪芸術賞

4年 第七回豊澤仙廣賞

5年5月26日 勲五等瑞宝章

5年5月27日 心不全にて逝去

師匠の思い出

鶴澤寛輔

師匠が亡くなりました。連絡を受け駆けつけて、枕経、納棺、そして次の日にはお骨に……あまりにあっけないことでした。

師匠は十回のけいこよりも一回の舞台の方が身につくと、舞台上立つことに重きを置いておりました。その点で義太夫協会の毎月の舞台はうらやましく思っておりましたし、出演させていたゞいてもおりました。私が師匠を初めて拜見したのも本牧亭の舞台でしたし、弟子入りをお願いしたのも本牧亭の楽屋口で待ちかまえてのことでした。もう十五年ほど前のことです。

大阪での因協会の舞台では、以前はたくさんのお大夫さんがいらして、師匠は一日に三人を弾いたことがありました。一舞台が済むと「今弾いてきたことを忘れな……」と大の字に横になって頭の切り替えをしておりました。天真爛漫と申しましようか、物事にこだわらない、明けっ放しの性格の人でした。好きな俳優さんもジョンウエインで「大きい人が好きや」と申しておりました。

「津大夫さんを舞台で弾けたら死んでもいい」と寛治師匠に話したと聞いてますが、朝日カルチャーセンターで講師をして、たとえけいこでも津大夫師を弾いてらしたので満

足だったかと思えます。

師匠は「太功記」「陣屋」「壺坂」が特別好きだったように思います。以前、雛三師の「河庄」を弾いた時、こんなつかみどころのないものは弾きにくいと云いつゝ幕が下りるやいなや「姉ちゃん、もう一度やろうな……」と云ったのが印象に残っております。

まだまだ活躍できる年齢で亡くなってしまった残念でなりません。人生は一冊の問題集魂修業の為に生まれてきたとすれば、義太夫一筋に生きてこられた師匠は自分の問題集をクリアしたばかりでなく、大きな成果をあげて本来の世界へもどって行ったと思います。不肖の弟子としてはあの世からも引き続き指導して下さいを願ってやみません。

鶴澤寛也

寛八師匠は、寛治師匠のもとで厳しい修業をなされた方ですが、大らかな性格でこんな話を伺いました。

あるとき稽古場の押入れに内緒でオーブンをリールをしかけておいた。稽古が思いのほか長びいて、テープが終ってしまい、今と違って自動的に止まらないので「カチャ：カチャ……」。音のする度に何事かと寛治師が「バツ：バツ：」とふり返られるのだが、知らぬ顔を通しどうにか見つからずに済んだ。身ぶり手ぶりを交えて何度も話して下さったその姿を思い出すと、楽しいような切ないような気持です。入門して九年の御縁でした。

## 松尾正夫氏逝去

## 松尾先生の思い出

名誉会長 吉川英史

松尾正夫先生は、時間的には私が義太夫協会の会長になってからの知り合いであり、空間的には歩いて五分もかからない所にお住まいの医者さまで、内科・皮膚科の松尾医院は、山田流箏曲の家元高橋栄晴さんのお隣りですから、かなり以前からこの医院の存在は知っていましたが、実際に私が松尾先生のお世話になったのは、私の足に水虫がでるようになってからのことでもあります。

松尾先生は素義の会長も勤められるほどの義太夫の実力者で、近くの神社の境内で演奏会に出演されましたが、遂に一度もお聴きしないうちに、永遠の別れとなりましたことを、誠に残念に思います。

実は私の家内もアレルギー性湿疹で松尾先生のお世話になっていましたが、ことしも松尾医院に行ってお薬を頂きたいといっているうちに、棚の上に物を上げようとして、誤って椅子から落ちましたので、薬を頂きに行けず、歩けるようになった時点で、松尾医院に行こうと思った途端に、松尾先生のご逝去の報に接し、二人で驚き入りました。

私の方も、そろそろ水虫の季節に近づいたので、これからは一層松尾先生との縁が深くなると思っていた矢先でした。

一方、義太夫の面での松尾先生は、ご自分が立派な語り手であらうに、しゃべるばかりでなく、女流義太夫に対しては熱烈な応援者でした。先生は本牧亭時代も、現在の国立演芸場においても、定例公演の時にはほとんど奥様ご同伴で出席され、聴き易い席を選ばれ、熱心に聴き入っておられた姿が、今もはっきり頭に焼き付いています。

私は女義の公演の時には、何となく常連のお客様数人の出欠がわかりましたが、その中には松尾ご夫妻も含まれていることは無論です。これからは、女流義太夫の公演がある度に、特に、水虫のシーズンが来る度に、松尾先生の温顔を思い浮かべることでしょう。心からご冥福を祈ります。

## 親子二代の

## 松尾武市氏

参与 中島古平

このところ義太夫界では大切な師匠達を次々に失い哀惜の念に耐えぬ折柄、今亦日本素義会々長松尾武市氏の訃報に接し誠に痛恨の極みでございます。

故武市氏は御尊父初代武市氏に継ぎ親子二

代に亘る素義の重鎮であり、仲々素義で二代続かれることは稀なことで御本人の義太夫修業の情熱は勿論のこと、二代に亘る奥様方の御理解ある積極的な御支援なくしては叶わぬことでもあります。私と初代武市氏との御縁は昭和拾五年五月に浅草の並木俱樂部で大阪八千代会と東都九重会との聯合浄曲会で猿三郎師の三味線で楠昔唄「どんぶりこ」を拝聴したのが初めてでその品格のある巧妙な語り口は未だに耳に残って居ります。

二代目武市氏は文楽の七世湊大夫、十世若大夫、綱大夫などの名人についてきびしいお稽古を積まれ専ら時代物を得意とされて中でも岡崎、布引四、忠四、引窓など数々のレパートリーがあり、中でも岡崎では又右エ門、幸兵衛は申すまでもなく夜番の詞や糸繰唄の件ノリの旨さには誠に感銘して拝聴いたしました。亦、武市氏の義太夫に対する御功績として特筆すべきことは三十年前、加藤聚楽氏と俱に大日本素義会を発足させ素義の発展に貢献されたことにあります。四拾一回目に聚楽氏に代り会長に就任、会の発足当時は竹本津大夫、竹本越路大夫、野澤勝太郎などの名人をお招きして審査会を主眼とされました。最近はいろいろの事情で審査は中止いたしました。参加者も年々増える傾向にあり、本年秋季には六十二回を迎えられるのを待たずしてお亡くなりになり口惜しい限りでございます。充分云いつくせず申訳ございませんが御生前の一端を追憶申上げ御冥福をお祈り致します。

# 一日体験シリーズ 今年も超人気!

## 来年待ちの方が40名

四月に「義太夫の一日体験教室」五月に「三味線の一日体験教室」を行ないました。毎年人気はうなぎのぼりで、特に、三味線は早々と定員突破、今年も一クラス追加いたしました……と、ここまでは一昨年と同じ文面です。実は昨年も全く同じ書き出しで御報告する予定だったのですが、土佐廣師追善の特集号となったために、掲載は見送りいたしました。

今年の体験教室も圧倒的に女性が多く、5月1日付け東京新聞には「女性に囲まれ参った」という記者体験記が掲載されました。「一寸も先へ行かぬぞ不思議なる」(卅三間堂棟由来)と語りながら、大きく首を傾けたりして本当に不思議そうな人が何人も。お腹の底から声を出してストレスも吹き飛んだようです。三味線はふたりで一丁を交互に使うのですが、休んでいる人は専らシャドウ三味線! 休憩時間も三味線の音が絶えないという積極的な受講風景でした。定員オーバーで来年待ちの方が約40名、この人気、いったいどこまで続くのでしょうか。

(会場は、いずれも演舞場スペース・アルファ)

「義太夫(語り)の一日体験教室」  
平成5年4月25日  
「卅三間堂棟由来 木遣音頭の段」  
講師―竹本 土佐恵  
竹本 土佐子

参加者53名(男11名・女42名)  
アンケート解答49名(男11名・女38名)  
\*義太夫を語るの、初めて46名 経験あり3名「前回の一日体験教室にて」

\*他の邦楽の経験がある15名 なし32名  
無回答2名  
\*年代 10代―3名 20代―22名 30代―10名  
40代―7名 50代以上―7名

以下、設問順に答えて頂きました。

- ①義太夫を語るの、
- ②他の邦楽の経験がある
- ③一日体験に参加の動機
- ④年代
- ⑤性別
- ⑥これまで義太夫に対して持っていたイメージ
- ⑦体験して、そのイメージがどう変わったか
- ⑧感想

①初 ②なし ③日本文化に興味があった。教壇に立つ身として声の出し方など学びたかった ④20 ⑤女 ⑥難しい。狭い世界 ⑦イメージ通り ⑧基本的な発声法やリズム・イントネーションなどの説明が欲しかった。譜がなくて音の長短高低を自分でつけるというところが大変難しく感じました。

①初 ②なし ③なにごとくも経験と違って ④20 ⑤女 ⑥哀愁を感じる ⑦変わらない ⑧もっと基礎からやるのかと思ったのにいきなり始まっちゃったのでびっくりした。

①初 ②なし ③面白そうだったから ④30 ⑤男 ⑥語り物の源流、浪花節、講談他の要素が沢山ある。⑦非常に難しいけど、こんなに素直な(感情・景色)表現をもっと身近に親しめる場所が必要ですね。⑧自分のは寝床みたいでした。

①初 ②なし ③観る方には気がいくのです、聞く方は何を言っているのかよくわからなかったから ④20 ⑤女 ⑥眠い、テーマに現代性がない ⑦パフォーマンズの中では控えめで地味な方だと思っていたが、PLAYする方になると、これはかなり積極的にやらなくては行かなくて大変だと思った。⑧(演目が(本当は有名なものなのかもしれないが)歌舞伎でよくやるような一般的なものであったらナー、正座が……)

①初 ②無記入 ③大きな声を出せるから  
 ④30 ⑤女 ⑥難しそう ⑦続けていけば楽  
 しくなりそう。物語に入り込まなくてはいい  
 ないのだと思った。楽譜がないので音程が難  
 しい。⑧初めて義太夫がこういうものであ  
 ると分かった。正座はつらい所がある。

①初 ②なし ③日本の伝統文化に興味があ  
 り、歌舞伎はよく見ているのですが、自分も  
 参加出来る参加型の文化に触れてみたいとな  
 ったため ④20 ⑤女 ⑥イメージを持つ以前  
 の段階。全く内容を知らなかった。⑦無記  
 入 ⑧間をとるのが難しい、というかどこで  
 どう入るのか分からない。これは慣れです  
 か？ポイントを押えたら個人の感覚でやっ  
 ていいものなのですか？

①初 ②なし ③三味線が好きで、芝居のセ  
 リフが好きで、こわいもの見たさで ④40  
 ⑤女 ⑥とつきにくい、ましてや自分で語  
 るとは考えもしなかった。⑦少しはして  
 みたいなど。⑧語り方がよく分からないから  
 ストレスがたまりそう。少し分かるようにな  
 れば、心置きなく大きな声が出せるのでし  
 ゃうか。

①初 ②あり「謡曲・新内」 ③子供の頃よ  
 り一度語りたいたと存じて居りました。④60  
 ⑤女 ⑥魂をゆすぶるもの ⑦無記入 ⑧大  
 変楽しうございました。又是非同いたく存じ  
 ます。

①初 ②あり「義太夫協会の三味線一日体験  
 で一度触れました」 ③吉本興業の創始者の  
 芝居で明治期の女義太夫の隆盛を見た事と、  
 大阪で何度か文楽を見ていたので。④40  
 ⑤男 ⑥無記入 ⑦無記入 ⑧声の抑揚や強  
 弱で場面を説明しようとしているのを初めて  
 知りました。私自身は全く単に口を開けてい  
 るだけの状態でした。

①初 ②なし ③都助成の公演を見て気に入  
 ったので ④30 ⑤女 ⑥真っ白 ⑦はじめ  
 結構はずかしい ⑧すごく面白い、また来た  
 い。

①初 ②あり「一日体験教室」 ③語った時  
 の気持ちは聞く側と違うのではと思います。④50  
 ⑤女 ⑥物語性を感じる。⑦意味に合った  
 節のつけかたに感心しました。⑧日常の雑  
 念から離れられ楽しいひと時でした。日曜日  
 だったので助かりました。

①初 ②なし ③芸人さんがやっているのを  
 みて少しだけ興味があったので ④20 ⑤女  
 ⑥特になくて、強いて言うので、すぐ死んじ  
 ゃうお話や心中ものが多いようで、(人に聞い  
 た話では)わりと古典で、そのままの形を保  
 っているんだなあと思っていました。⑦イメ  
 ージはもとよりはっきりしていませんでした  
 ので語るに歌うでないというのが新しいイメ  
 ージでした。ただ、私は、カラオケでスト  
 レス発散するのに少しばかり似通ってしまった

ようでしたが……奥が深い未知の世界で  
 した。⑧はじめから勢いよくどんどん進ん  
 でくれたおかげで、一つの話が全部語れたの  
 は「体験!!」という感じでよかったですと思いま  
 す。私が邦楽が好きというワケではなくて行  
 ったので、いろいろな講義などなくていきな  
 り語ると言うこの方法は非常に充実してい  
 たように思いました。



外国の方もおふたり

(写真 東京新聞提供)

「三味線の日体験教室」

平成5年5月9日

講師 竹本 弥乃太夫

参加者 2クラス合計100名

(男8名 女92名)

アンケート回答89名

(男8名 女81名)

\*三味線を弾くのは 初めて68名 経験あり

20名 前回受講した1名

\*三味線以外の楽器の経験が ある45名 な

し19名 無回答11名

\*年代 10代—1名 20代—42名 30代—21名

40代—11名 50代以上—12名 無回答—2名

以下、設問順に答えて頂きました。

①三味線を弾くのは ②他の邦楽の経験 ③

三味線以外の楽器の経験 ④年代 ⑤性別 ⑥

感想

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥本

当はもっともっと何倍も覚えることがあるの

でしようけど、エッセンスをよく教えて下さ

った感じで満足しました。

①初 ②なし ③なし ④20 ⑤女 ⑥短時

間であれ兎も角もまとまったものを弾くこと

ができたような気分になれるのは楽しい。少

し教え方のテンポが早いのも仕方がないか。

①初 ②無記入 ③バイオリン6年とピアノ  
④10 ⑤女 ⑥正座はつらかったですが、と  
ても楽しかったです。三味線が欲しくなりま  
した。

①初 ②なし ③ピアノ・アコーディオン  
④20 ⑤女 ⑥以前から興味はあったのです  
が、なかなか縁がなくて。一日体験という  
ことなので気軽に申し込むことが出来ました。

①初 ②なし ③ギター ④40 ⑤女 ⑥ハ  
ードでした。全くの初心者にとってはちょっ  
とむつかしかったと思います。

①初 ②なし ③クラシックギター ④30  
⑤女 ⑥あの譜面は意外にわかりやすかった  
のと、演奏に即して書かれていることがわか  
って面白かったです。2時間は短すぎました。

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥こ  
ういう世界もあるんだなと実感しました。指  
が痛くなければまたやってみたいです。

①経験あり ②長唄 ③なし ④50 ⑤女  
⑥昨年はダメでしたので今年こそはと思っ  
て居りました。夜は無理ですので残念ながら教  
室には入れません。

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥三  
味線に津軽三味線とか種類のあることを初め  
て知った。どれか三味線をやってみたい。

①初 ②なし ③ピアノ・フルート・クラリ  
ネット ④20 ⑤女 ⑥2時間もあると思っ  
ていたのですが、始めたらあっというまに  
終ってしまいました。とにかくバチを持つこ  
とが大変でした。歌舞伎を観ていても、  
あゝ三味線をやってみたいなあ”と思ってい  
たので少しでも体験できてうれしかったです。

①初 ②なし ③フルート・ピアノ・ギター  
④20 ⑤女 ⑥初めて見る坪譜で、本当に曲  
が弾けるのか不安だった。弾いてみると何と  
かなるものだとかわり楽しかった。弾く指先  
など美しいものだとかわかった。

①あり「長唄」 ②あり「長唄」 ③なし  
④20 ⑤男 ⑥太棹の音を自分で出せて楽し  
かった。今もこんな譜を使っているなんてす  
ごいと思った。協会の皆さんがんばって下さ  
い。

①初 ②なし ③なし ④20 ⑤女 ⑥生れ  
て初めて三味線を弾けたのは感激でした。な  
かなかさわる機会がないので、こういう教室  
があればと思います。(特に土日に)





# 義太夫教室第46期初級アンケート

義太夫教室第46期の中上級が、9月6日開講、来年2月26日の卒業発表会、3月の修了式まで続けられます。三味線コース申込みの電話を受けるたびに、楽器が足りるだろうか、事務局はハラハラしどおしだったとか。7月末日に終了した初級入門コースのアンケートから、甘口辛口の御意見を。

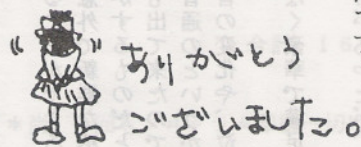
## 【語り実習について】

- \*物語の主人公になったような気がして、とても楽しかった。
- \*（素八先生が）お怪我をなさって途中でお稽古していただけなかったのは残念です。でも腹に應えるお声はスゴイ。御回復の早からんことをお祈りします。
- \*声を大きく出せて息を吸い込むのでストレス解消できた。
- \*懇切丁寧に分かりやすかった。「教え方」自体とても得るところが多かった。
- \*くぎって教えて頂けたので、解りやすかったです。迫力に負けました。
- \*こちらの耳が1ぺんに肥えた感じがしました。
- \*面白かった……けど私はやはり「おんち」だと知った。
- \*小人数でやるのはプレッシャーでした。始める前、発声練習等があれば声が出しやすかったかも。

## 【三味線実習について】

- \*頭では十分のみこめたが、何せ手が動かなかった。もう一、二遍触ってみたかった。
- \*先生の言ったところを押えると自分も同じ音が出るのはカンゲキした。
- \*これで「弾き語り」なんて、ウソ、信じられない！
- \*糸が戻ってしまったり、切れたりしましたが、すぐにカバーして下さった諸先輩に心よりお礼申し上げます。
- \*自分の不器用さにはただただあきれられるばかりでしたが、楽しいものだと思います。
- \*まだ右手の小指が少しハレテ痛みますが、私も弾けたなんて本当にフシギです。二時間があったという間でこの時だけはシビレませんでした。
- 【講義・運営等について】
- \*歌うなどか素義とか、初めてだったのでとても難しかった。あとからきくと少しはわかるのかな？

- \*蓄音機とてもレトロで面白かったです。
  - \*知らないことがどんどん出てくるので、興味深かったが頭がつかれた。
  - \*私は今回初めて浄瑠璃に触れたもので、何だか内輪で喜んでるように見えました。やはり予備知識はある程度あった方がよかったですかなと思います。
  - \*この内容の濃さで二万五千円は、習う方ではお得だと思うのですが、時間的にはハードでした。
  - \*入学する前は、こんなにチャントしている所とは思っていませんでした、失礼！
  - \*長年の歴史ある会の割には、教授法が確立していないのかな？と思うが、所詮日本の伝統芸能は、西洋のような系統立った教授法などないのであるうと思われる。妄言おゆるし下さい。
  - \*歌舞伎を見にいったら、とてもよく解るようになっっていた。
  - \*受付にいらっしゃる女の方たちが皆さんやさしくてうれしかったです。
- これもアンケートです。楽そこ  
最近イラストが多くなりました。ごち  
ありがとうございます。



## おなじみのフレーズを義太夫にしたら？

### — 実験講座アンケートから —

6月22日、国立演芸場で上演された「実験講座」に多くのアンケート回答をいただきました。演奏者（竹本越若・竹本越孝・竹本越京・鶴澤津賀寿）がアイディアを出し合い、憲法の序文から税金の督促状、CM、交通標語などに節付け（津賀寿担当）をして義太夫節の特色を浮かび上がらせようという企画でした。お話は、池田弘一相談役（神田外語大学教授）。実験講座を出張して貰えないかという問い合わせがいくつも寄せられるほど御好評を頂きましたので当日のアンケートからいくつかを御紹介申し上げます。

入場者総数 275名

アンケート回答 74名

（男18名・女54名・無記入2名）

\*この催しをどちらで知りになりましたか。  
義太夫協会からの案内26名 出演者から14名 新聞・情報誌4名 ポスター1名 チラシ入手9名

\*ナマで義太夫節の演奏を聴くのは

初めて22名 2、3数回23名 それ以上29名

\*10代3名 20代31名 30代12名 40代10名

50代15名 60代以上3名

\*大変分り易かった 43名 おおむね理解出来た27名 よく理解出来なかった1名

\*義太夫節に親しみが持てた47名 親しみが湧いてこない0名 義太夫節に対するイメージが変わった11名

\*義太夫節の特徴がよく分かった50名 あまり特徴は浮かび上がってこなかった4名

\*流行語を義太夫調に、面白い企画だ51名 流行語に節付けするのは無理がある1名

\*学校教育に取り入れたい21名 学校教育には必要がない2名 その他（取りいれてもよいと思うが、我々教員がもっと勉強する必要がある。大学の国文、高校の古典、どのような場面で取り入れられるのか。あまり低学年では無理、高校生以上くらいか。あまり関係ないかも。生徒が親しみを持つかどうか分からない、等々。）

\*今後も実験講座を続けた方がよい59名 どのような実験講座は一度でよい2名 その他3名（たまにはいいかもしれない。）

### 感想から

\*新しいものを取入れることができるとは思っていなかったのも意外で新鮮な感じがした。もっと固い感じがするものだと思っていたので、CMなども出て来たので驚いた。実験講座のあとで、普通のとうりか古典を見たので、三味線の音の変化や、泣きなどが分かりやすかった。

\*面白かったし、何となく豪華で満足感があつた。

\*一部こなれていない所があったが、あとはよかったと思う。

\*若い人たちがいろいろな試みをするのは大いに歓迎です。と同時に古典の技芸をますます御研鑽されることを希みます。

\*歌舞伎の中でしか義太夫を聞いた事がなかった。初心者にもわかりやすいものを時々聞かせて下されば幸いです。

\*面白かったです。いろんな可能性と顔を持っている事が改めてわかりました。

\*観客の笑いは、おかしさ半分と、大胆な発想、柔軟な頭による企画への拍手と思つて下さい。

\*実験講座は今後も続けた方がいいと思う。若手の発表の場が増えるだろうし「実験」なのだから失敗を怖れずに思い切った事が出来るだろう。

\*古文より英語の方がよくわかる時代ですから、企画としてはいいが、古典芸能を崩さずに守るべきところを守って下さい。

\*義太夫節の保存に努力しておられる姿に感動致しました。



協会の動き

'93'93年1月より  
9月まで

女流義太夫演奏会(芸術文化振興基金助成) 竹本綾貴世芸団協助成 新人奨励賞受賞記念。開演前舞台にて表彰式を行なった。  
於国立演芸場

〔平成4年度〕

1月9日 公演部会 於事務局

1月14日 公演部・吉村桂章・国立演芸場打合せ 於国立劇場

1月19日 芸術文化振興基金平成5年度助成金交付要望書提出 於文明堂

1月20日 常務理事会 於文明堂

1月22日 正会員・役員新春挨拶交換会 席上、第8回豊澤仙廣賞授与式 鶴澤悠美が受賞した。

20日 公演部会 於文明堂

22日 床世話講習会 於国立演芸場

22日 女流義太夫演奏会初春公演(芸術文化振興基金助成) 特別出演 吉村桂章・望月久恵社中 於国立演芸場

1月23日 義太夫教室OB同窓会(仮称)設立準備会 於文明堂

2月1日 税務相談会 於事務局

2月11日 公演部会 於事務局

2月18日 演舞場稲荷初午祭 於国立演芸場

2月23日 公演部会 於国立演芸場

2月23日 第12回伝承者研修発表会(義太夫節保存会主催、義太夫協会後援、文化庁・東京都助成) 於国立演芸場

2月26・27日 国立劇場民俗芸能公演「車人形と乙女文楽」西川古柳座と人形劇団ひとみ座・桐竹智恵子師と女流義太夫が共演した。

2月27日 義太夫教室OB演奏会ー第45期卒業発表会 義太夫教室OB会主催・義太夫協会後援 全26高座 於東京証券会館ホール

3月10日 義太夫節保存会平成4年度文化財保存事業実績報告書提出 於ルノアール

3月11日 役員会 於ルノアール

3月12日 平成5年度民間芸術等振興費補助会概算要求書提出

3月15日 義太夫教室第45期上級コース修了式 於演舞場スペースアルファ

3月17日 第12期竹本研修修了発表会・第12期歌舞伎俳優研修生・第8期鳴物研修生発表会 於国立小劇場

3月23日 臨時理事会(不成立) 於国立演芸場

3月23日 女流義太夫演奏会(芸術文化振興基金助成) 竹本綾貴世芸団協助成 新人奨励賞受賞記念。開演前舞台にて表彰式を行なった。  
於国立演芸場

3月30日 平成4年度民間芸術等振興費補助金実績報告書提出 於国立演芸場

3月31日 竹本越道を聴く会(義太夫協会後援) 芸歴七十五周年記念 於池袋芸術劇場

〔平成5年度〕

4月9日 平成4年度文化財保存事業費国庫補助金額の確定通知 於事務局

4月12日 公演部会 於事務局

4月12日 平成4年度東京都文化財保存事業費補助金の額の確定通知

4月14日 平成4年度芸術文化振興基金助成事業(女流義太夫演奏会) 実績報告書提出 於布善倶楽部

4月16日 定例理事会 於国立劇場

4月20日 第13期竹本研修開講式 4名合格 於国立劇場

4月22日 公演部会 於国立演芸場

4月22日 女流義太夫演奏会「故三代目竹本綾之助師を偲ぶ」挨拶 池田弘一 於国立演芸場

4月25日 義太夫(語り)の一日体験教室 講師 竹本土佐恵・竹本土佐子 (6・7頁参照) 於演舞場スペースアルファ

【寄贈】

文楽編集部様 「文楽」第10号

真田弘二様 義太夫教室OB演奏会写真

戸叶琢通様 竹本素女会他プログラム9集

和田博様 三代目竹本綾之助師墓所写真

(文京区小日向4丁目 徳雲寺)

田口玲子様 鶴澤寛八師他写真 10葉

松本義孝様 竹本素女師他写真 3葉

床本(司重氏筆) 7冊

女流義太夫演奏会4月公演

故三代目竹本綾之助師を偲ぶ

舞台写真 56ショット

上口フジ様 骨、バチ 2丁

中矢勝子様 ヤッコバチ 1丁

太棹三味線 1丁

骨、バチ 1丁

ヤッコバチ 2丁

コ、マ 4ケ

細棹三味線 1丁

細棹用コマ 1ケ

細棹用バチ 1丁

松竹株式会社様 歌舞伎座百年史

株式会社歌舞伎座様 本文篇上巻

野澤松也様 アガリ糸 多数

鶴澤寿治郎様 アガリ糸 多数

大阪市教育委員会事務局文化財保護課様

国立劇場業務課様 平成4年度新作文楽脚本入選作品集

文楽パンフレット 21部

文楽観賞のために 77部

文楽絵葉書 10部

文楽メモ 20冊

【訃報】

■鶴澤寛八師(本名一上村はま)正会員

平成5年5月27日逝去

重要無形文化財総合指定保持者・義太夫節

保存会理事・義太夫協会もと理事 没後、

勲五等瑞宝章 享年76才(2、4頁参照)

■竹本米太夫師(本名一松崎春男)

平成5年5月30日逝去

歌舞伎義太夫竹本協会展長・義太夫協会も

と理事。昭和22年、歌舞伎の義太夫にはい

り、24年二代目竹本米太夫を襲名。平成2

年、勲五等双光旭日章。享年77才。

■松尾武市氏(本名一松尾正夫)特別会員

平成5年6月6日逝去

松尾武市氏(父上・初代)から親子二代の

素義として活躍。昭和58年以降は義太夫協

会常任相談役として、斯界発展の為お力添

え下さいました。大日本素義会会長

享年77才。(5頁参照)

■高橋山月氏(本名一高橋喜三男)賛助会員

平成5年7月25日逝去

素義の重鎮。竹本喜太夫氏の御尊父。

義太夫協会の社団法人化以前から、また法

人設立に関しても御尽力賜りました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

□新職員御紹介

新聞広告で事務局員を募集したところ、ナ

ント一六〇通も履歴書が郵送されてきました。

その中から秋山寿美子さんが選ばれて、只今

引き継ぎ中です。どうぞよろしくお願い申し

上げます。(美人ですヨォ!!)

編集後記

残暑(異常気象?)お見舞い申し上げます。

お正月以来の御無沙汰で、申し訳ありません。

発行が遅れている間に、悲しい御報告が

相次ぎ、またもや追悼記事の占める割合が多

くなってしまいました。寛八師の訃報には、

どなたも驚かれたと思います。

演奏者の減少が心配される反面、一日体験

教室と義太夫教室が大人気という状況がこの

三、四年続いています。これは、歌舞伎をは

じめとする伝統芸能のブームとも無関係では

ないでしょう。けれども、この歌舞伎ブーム

にも俳優不足や稽古不足など、警告を発する

人は少なくありません。

掲載させて頂いたアンケートは、人気をひ

けらかすためのものでも、自画自賛でもあり

ません。一日体験の人氣イコール義太夫の人氣

とは限らないと心に戒めて、その上で、義

太夫に近づいてきて下さった方を大切にしな

さい、という教訓だと思っております。ブー

ムがブームで終わってしまうか、定着するか、

バブルがはじけるようなことにならないよう

に、いま総力を挙げるべき時のような気がし

ます。御意見をお聞かせ頂ければ幸甚です。

